

主体的に学ぶ研修～学びをデザイン！～

総合教育センター主催の研修のみならず、Plantに掲載されている研修や今までどおり各自で行ってきた研修を活用して学びをデザインしましょう。



総合教育センター・教育事務所・市町村教育委員会主催の研修

総合教育センターでは、授業力向上区分の自己研鑽のための研修を充実しました。



NITS・NISE・大学・他都道府県等が主催する研修

Plantには、様々な主催者が研修コンテンツを掲載しています。



これまで各自で行ってきた様々な研修

教師がこれまで各自で行ってきた研修も記録できるようになります。

【記録されることが想定される学びの例】

- ・校内研修・校内研究 学校全体で体系的・計画的な学び合い等がなされるもの
- ・修学休業による大学院の課程、免許法認定講習・認定通信教育
- ・校外の公開研究授業や研究協議会、教育課程研究会等への参加
- ・県教育委員会等からの指名による研修
- ・公的機関、学会、法人、団体、民間企業等主催の大会、講演会、セミナー等
- ・部活動指導に関する体育系協会や文化・芸術系の連盟が主催する講習会
- ・教科部会等の勉強会や研究会
- ・研究論文の執筆



管理職に申告して記録します。
「多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成」につながることがポイントです！

総合教育センターは皆さんの学びを応援します！

こんな困りごとはありませんか？



研修にて、自分の立ち位置、これまでとこれからについて考えましょう。

総合教育センターは、
学びのデザインについて
サポートします！

新たな教師の「学び」に向けて

神奈川県立総合教育センター

あなたの学びをバージョンアップ！！

「自立した学習者の育成」を目指して

子どもが**自立した学習者**（自分で考えて、判断して、行動できる、しようとする）となることで、変化の激しい世界でも豊かに生きられるように……

個別最適な学び [教師視点では「個に応じた指導」]

指導の個別化

子ども一人ひとりの特性や学習到達度などに応じ、指導方法の工夫や教材の提供を行う

学習の個性化

教師が「指導の個別化」を行うことで、子どもが自分にとって最適な学習となるよう調整を行う

協働的な学び

子ども同士の学び合いを行い、その結果を各自で深めるといった循環を作る学び

ICTの活用

児童・生徒が自ら見通しを立てたり、学習の状況を把握し新たな学習方法を見いだしたり、自ら学び直しや発展的な学習を行ったりすることなどにつながる学び

全ての子どもたちの可能性を引き出す「学び」を充実させるために…

私たち教師に**研修観の転換**が求められています。

主体的な姿勢



変化を前向きに受け止め、探究心を持ちつつ自律的に学ぶ姿勢

継続的な学び



求められる知識・技能が変わっていくことを意識した学び

個別最適な学び



新たな領域の専門性を身に付けるなど強みを伸ばすための、一人ひとりの教師の個性に即した学び

新しい研修観 とは？

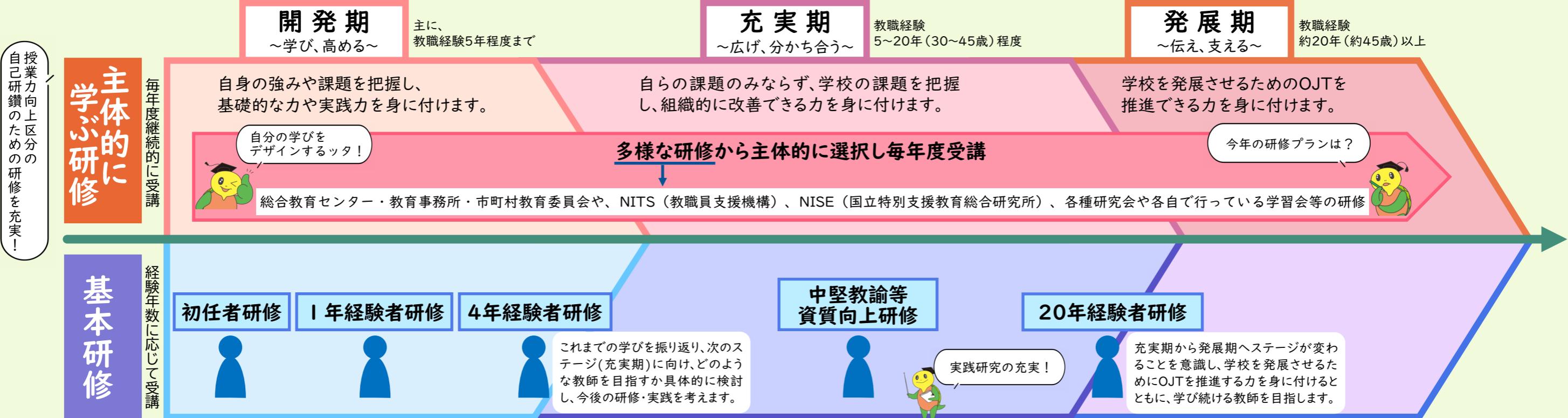
協働的な学び



他者との対話や振り返りの機会を確保した学び

教師自らが主体的に探究的な学びをデザインする研修へ

研修は教師の権利であり義務でもあります。子どもの学びのために、そして教師としての自分の力量向上のために、自らの学びをデザインし、研修を進めていきましょう。



「主体的に学ぶ研修」の流れ

自身の研修デザインに沿って、毎年度主体的に受講しましょう。



研修履歴の記録について

神奈川県では、令和7年度より「Plant 全国教員研修プラットフォーム」（以下、Plant）を利用して、研修の受講等並びに研修履歴の記録を行います。

引き続き「研修履歴」を学びの振り返りに役立てるとともに、管理職との対話を通して、その後の研修計画の検討に活用しましょう。

県研修用サイトに記録された研修履歴
(令和5・6年度分)
→ 移行作業中

Plantを介さずに受講した研修や、令和4年度以前の研修についても、教師自身でPlantに手動登録できます。

※Plant

全国教員研修プラットフォーム

令和6年度からNITS（教職員支援機構）により運用されているオンデマンド型研修コンテンツ等の提供及び研修受講履歴記録が一体となったシステムです。



Plantを介して受講した研修は自動的に記録されます
(総合教育センターが主催する基本研修や自己研鑽のための研修等)